

海外発注可 納期相談 企画力自信有 コスト相談 オンライン技術 メイドインジャパン 試作可小ロット 量産対応

気化性防錆紙 アドパック adpack®



こうなる前に大切な製品を簡単にサビから守ります

左) 気化性防錆紙を使用していない場合

右) 気化性防錆紙で梱包又はポリエチレン袋に同梱

国内希少の防錆専門企業
気化性防錆紙で錆と戦う！

アドコート 株式会社

オリジナル気化性防錆紙
『アドパック』

「防錆紙」という製品があることをご存じだろうか？ 例えば、トレーラーに積み込まれたコイルの束を見ることがあるだろう。あのコイルに巻きつけられた紙がそれだ。

アドコートは、オリジナル気化性防錆紙『アドパック』を製造・販売する防錆専門メーカー。昭和43年創業当時は、一部上場製紙会社の下請けとして製造していた。しかし、約8年前、その会社が倒産したことがきっかけとなり、メーカーへの道を歩み始めた。

気化性防錆紙は、大手製鉄、自動車、刃物会社等にとつて40年以上も前から欠かせない存在であるにも関わらず、ほとんどが輸出梱包という特殊な用途で使用されてきたため、認知度が非常に低いのが現状だ。ゆえに防錆紙の市場は極めて小さく、国内で取り扱う企業は同社を含めわずか4社。同社以外は、大手製紙会社だ。そんな強力なライバルを相手に、アドコートは、国内シェア25%を誇っている。

錆を極め、研究開発する
防錆のプロフェッショナル

同社は防錆一筋40年超。まさに、防錆のプロフェッショナルとして、先手の研究開発を積極的に行っている。

錆は化学反応で起こる。錆にとって必要な物質は酸素と水。高温多湿であるほど錆は発生しやすく、結露に見られるような気温差も敵になる。これらの環境条件を熟知すべく、社内では恒温恒湿槽により特定の環境を作り出し、どの条



JISの実験結果。『アドパック GK-7(M)』使用ありとなしではこれだけの差が出る

件で錆が発生するのの実験を行う。また、イオンクロマト、FT-IR、蛍光X線等の機器を活用して防錆剤の残量や他物質の分析・解析にも力を注いでいる。

「錆」を防御するため、一般的に防錆油が活用されてきた。しかし、油は製品だけでなく工場内も汚してしまう。そんなクリン性や手軽感からも『アドパック』の活用性は高い。特に、日本を含めた高温多湿にあるアジア地域に対し、大きなトラブルの原因となる錆を簡単に防ぐことができるアイテムとして、貴重な存在となっている。同社は、錆に対する諸条件を熟知したうえで、錆びないためにはどのように梱包すればよいか、この鉱物にはどのような化学薬品を含んだ紙がよいかを、プロならではの目線で提案している。

「もっと防錆紙を知ってもらいたい」と後藤社長の想いは熱い。その一環として、今後はホームページによる直接販売や、大手流通とタイアップしたカタログ販売等、リテールとしての販路を広げ、認知度を高めていく。

一つでも多くの錆を防ぐ。そんな錆の専門家への想いは、業界に新たな化学反応を起こすに違いない。

Company Profile

アドコート株式会社

ISO 9001

大阪22

住所 〒578-0984
東大阪市菱江1-25-14
TEL 072-963-3848
FAX 072-964-0794
設立 昭和43年5月8日
資本金 4,000万円
従業員 17名
代表取締役社長 後藤 基志

■主な事業内容

気化性防錆紙の製造、販売および防錆剤調合、紙コーティング加工

■主な取引先

大手製鉄メーカー、大手自動車メーカー、刃物メーカー 等

<http://www.adpack.jp>

他社には負けない

当社のものづくり
セールスポイント

「三方よし」の精神で
防錆紙を研究・開発しています

代表取締役社長 後藤 基志 さん



売り手よし（従業員共々永年存続していかなければならない）、買い手よし（自信を持った商品、サービスを提供し気持ちよく使っていただく）、世間よし（環境問題、化学物質規制への対応）

近江商人の経営理念「三方よし」ですが、当社ならの解釈で防錆紙製造に取り組んでいます。